

太宰府市高齢者支援計画
(高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画)

平成27年3月

太 宰 府 市

ごあいさつ

我が国では、急激な速度で高齢化が進み、年金、医療、介護など社会保障制度の再構築が課題となっています。

また、ひとり暮らしや認知症の高齢者が増加することで新たな課題も生じており、高齢者が住み慣れた地域で知識と経験を活かし、いきいきと活躍できる地域を目指すとともに、心身の状態に応じて必要な支援を受け、安心して暮らせる社会を実現できるよう、高齢者保健福祉施策を積極的に進めることが求められています。

平成12年4月に開始された介護保険制度は、平成27年4月の大幅な改正により、介護・医療・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みをより一層進めることとなります。

本市では、介護保険制度の持続可能性の確保とともに、高齢者を取り巻く環境の変化や高齢社会における課題等に対応するため、このたび平成27年度から29年度までを計画期間とする、新たな「太宰府市高齢者支援計画（高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画）」を策定いたしました。

本計画に基づき、高齢者の方が介護や支援を必要とせず、健やかに暮らせるまちづくりに努めるとともに、介護や支援が必要な状態になっても可能な限り住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、様々な高齢者保健福祉施策や介護保険サービスの充実を推進してまいります。

市民の皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本計画策定にあたり、アンケート調査およびパブリックコメントにご協力をいただきました市民の皆様をはじめ、慎重なご審議をいただきました太宰府市介護保険運営協議会委員の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成27年3月



太宰府市長

井上 保廣

第3章 高齢者を支援する地域づくり

第3章 高齢者を支援する地域づくり

第1節 高齢者福祉サービスの充実

1 生活支援サービス

(1) 配食サービス事業

【事業内容】

概ね65歳以上のひとり暮らしの高齢者や、心身の障がい等の理由により買い物や調理が困難な人などに対して、栄養バランスのとれた食事（夕食）を宅配するとともに、配達の際に安否確認を行う事業です。

【現状と課題】

- 配達に伴う安否確認を実施し、緊急事態を発見した際は緊急連絡先に連絡等の対応を行うことで、日常的な見守りに結びついています。
- 今後は、きざみ食やアレルギー対応食、減塩食など高齢者ニーズに応じたメニューの充実が課題となっています。

【施策の方向性】

- 高齢者等の低栄養状態のリスク回避とともに、より一層の安否確認の徹底、高齢者等の見守りを行います。
- 高齢者の生活状態等についての情報を地域包括支援センター、家族、関係機関（居宅介護支援事業所等）と共有し、適切な支援が行えるように連携を深めます。

【事業量】

	第5期（実績）			第6期（見込み）		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
委託料合計	2,747 千円	2,648 千円	2,552 千円	3,694 千円	3,715 千円	3,737 千円
延配食数	18,307 食	17,610 食	17,016 食	17,100 食	17,200 食	17,300 食

※平成26年度の数値については見込みとなります。（以下、同様）